

【国語／作文（小論文）】

～ClassPad.net の授業支援機能・デジタルノート共有機能を活用する～

小論文の基礎の理解を目指す授業

自身やクラスメイトの書いた小論文を分析した上で、小論文の基礎知識を習得する。

【本授業の目的・狙い・到達目標】

教師向けの目標：自身やクラスメイトの書いた小論文を分析させ、その後に小論文の概要を説明することで、主体的な学びを経た上で知識習得をさせることを目指す。

生徒向けの目標：自身やクラスメイトの書いた小論文を通して説得力のある文章とはどのようなものかを考え、その上で小論文についての基礎知識を身につける。

【ClassPad.net 活用によるメリット】

・課題の配布→回収→管理→添削→返却の効率化：

ワークシート等を効率的に配布・回収することができ、生徒のリアルタイムでの体感的な理解に役立てられるとともに、生徒主体の活動の時間を増やすことができる。

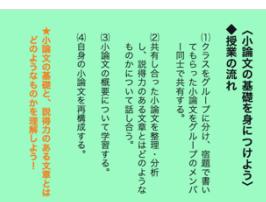
・板書時間削減：内容説明の時間を短縮することで、生徒主体の活動の時間を増やすことができる。

・協働学習促進：グループワークにおいて生徒間で小論文をスムーズに共有させることができ、話し合いや分析作業を円滑に行わせることができる。

授業の流れ

ClassPad.net での操作

step1



概要の説明

(宿題にて、「中学校における学校給食の廃止に賛成か反対か」についての小論文を書いてきている状態。)宿題の確認の後、「グループごとに小論文共有 → 内容の整理・分析 → 説得力のある文章とはどのようなものかについての話し合い → 小論文の概要についての学習 → 自身の小論文の再構成」、という授業の流れを伝える。その上で、この活動によって小論文の基礎と、説得力のある文章とはどのようなものかについて理解するという活動の意図を伝える。

宿題の小論文はテキストふせんを用いて書かせ、指定した提出先に提出させておく。

step2



小論文の共有

クラスをグループに分けた上で小論文をグループ内で共有し、読み合いをさせる。そして、どの生徒の小論文がより意見が伝わりやすかったかについて、意見の出し合いをさせる。

授業支援機能を用い、小論文を書いたテキストふせんをグループのメンバー同士で共有し合ってもらう。

step3

内容の整理・分析

小論文に書かれた内容について、項目ごとに整理させる。

〈主張〉〈理由〉〈反論〉〈分類でできないもの〉といった項目が記されたテキストふせんを授業支援機能で配付し、そこに内容を書き込ませる。

step4

議論

step3で整理した内容をもとに、説得力のある小論文とはどのようなものかについて、再度グループで話し合いをさせる。

同時編集機能を用いて、グループで出した意見や話し合いの結果をテキストふせんにまとめさせる。話し合いの際は、step3で用いた内容整理・分析のふせんも適宜参照するよう促す。

step5

基礎事項の解説

小論文の概要、基礎について説明する。

教員は事前にテキストふせんやファイルふせんを用いて小論文の基礎についてまとめておく。それを配布、及びプロジェクトや電子黒板に投影しながら、小論文の基本について説明する。

step6

小論文の再構成

ワークシートを用いて、step5で学んだことをもとに、自身の小論文を再構成させる。それを用いて小論文を書き直し、新たなものを作成させる。

授業支援機能を用い、小論文の構成要素が記されたテキストふせんを配布する。そこに、自身の小論文から抽出した内容を書き込ませ、文章を再構成させる。

それをもとに、テキストふせんに改めて小論文を書かせる。

step7

まとめ・宿題

授業内容を振り返り、宿題としてstep6の活動を終わらせてくることを伝える。

宿題は課題として回収する。この際、提出期限を設定し、計画的に添削・返却ができるようにする。

step8

参考・補足

テーマとしていた、学校給食の是非についての小論文の例を提示する。また、学校給食の現状についてのデータを提示し、資料を読み取って書く小論文の場合での書き方について補足説明する。

農林水産省「学校給食の充実」
(https://www.maff.go.jp/j/syokuiku/wpaper/r3/r3_h/book/part2/chap2/b2_c2_2_00.html)などのリンクふせんを送受信機能で共有し、ページ内の資料を参照しながら説明する。